

令和 7 年度 地域連携推進会議議事録(グループホーム M ネットおまえざき)

【日時】 令和 7 年 9 月 18 日 (木) 10:00~11:30

【場所】 グループホーム風音 A 棟 2 階娯楽室

【出席者】

やすらぎ会(御前崎地区家族会)横山氏

民生委員 2 名

市役所福祉課大川原氏

社会福祉協議会

就労継続支援 B 型事業所居処どこでも澤入氏

社会福祉法人 M ネット東遠 八木光春理事長

社会福祉法人 M ネット東遠 グループホーム M ネットおまえざき 原田紘交

※利用者は当日体調不良の為欠席

1、開会・挨拶

、開会のあいさつがあり、地域連携推進会議について地域連携推進会議の趣旨と重要性について説明。

2、参加者の紹介

出席者全員が自己紹介を行った。

3、会議の目的説明

施設職員より以下の目的について説明する。

- 利用者と地域との関係づくり
 - ・施設の概要と利用者の特徴について
自立型のグループホーム(以下 GH)で地域生活移行への足掛けとなる施設を目指していること、食事の調達は平日の夕食以外は自身で行っていることなどを説明した。
- 地域住民への施設および利用者に関する理解促進
 - ・障害特性について
- 施設およびサービスの透明性と質の確保
 - ・利用者の日常生活の状況について
- 利用者の権利擁護
 - ・GH 職員の日常的な支援について
買い物支援やボランティアが行ってくれている夕食作り、日常的な体調管理や生活の困りごとを解決する関わりを行っていることを説明した。
- 施設と地域の連携について
 - ・利用者の年齢層や障害別の入居割合について概要説明
年齢層は最年少が 29 才、最年長が 77 才、平均的には 50~60 才代
入居者 18 名のうち、精神障害 14 名、知的障害 4 名

・非常災害時の取り組みと地域連携について

災害時には福祉避難所として地域の障害者の受け皿となることを説明した。

受け入れの際には、市役所職員と GH 職員が対応すること、施設近くに防災倉庫が設置されている為備蓄も用意できることを説明した。

3、質疑応答・意見交換

●民生委員：自立型の施設ということですが、実際にアパートなどに移行する方はいますか？

→他の GH に移行した方はいますが、住み慣れてしまうと生活の場を移すことに抵抗感を示す方がいる為多くの方は施設での生活を長く続けています。

●家族：日中の活動先は皆さんどうされていますか？

→一般就労 2 名、疾病による在宅療養 1 名、地域活動支援センター 1 名、就労継続支援 A 型事業所 1 名、就労継続支援 B 型事業所 13 名が内訳です。

4、その他

理事長より、地域と連携を深めるため引き続き意見を伺いたい旨の挨拶があり、閉会。

5、施設見学 施設内の各フロアとご利用者の日常生活や活動の場を見学される。